

記念館新聞

福岡町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福岡町西田原
1038 の 12
電話：0790-22-1000



☆☆入館案内☆☆

☆開館時間

9 時～16 時 30 分

（入館は 16 時まで）

☆休館日

月曜、祝日の翌日

12 月 28 日～1 月 4 日

☆入館料

無 料

館日記

11 月 16 日（土）に「柳田國男生家茅葺き屋根修理工事修理現場見学会」を行いました。
秋晴れの中、多くの皆さまにお越しいただきました。

岩田健三郎さんの版画教室



岩田健三郎 作
「福岡町福岡の固寧倉」

12 月 8 日（日）の 13 時 30 分から岩田健三郎さんの版画教室を開催します。
姫路を中心として活躍されている版画家の岩田健三郎さんが、丁寧に教えてくださいます。
版画のテーマは「年賀状」です。
楽しみながら年始の挨拶を伝える年賀状をつくってみませんか。
参加には、事前申し込み（TEL 22-1000）が必要です。

場所 記念館 2 階
費用 100 円
持ち物 彫刻刀
※彫刻刀をお持ちでない場合は、申し込みに際にお伝えください。
※小学生低学年の方は保護者の方と一緒に参加ください。
皆さまのご参加をお待ちしております。

柳田國男生家

茅葺き屋根修理工事報告

現在、柳田國男生家は茅葺き屋根の修理工事を行っています。

修理は、「差し茅」（差し屋根）という、傷んだ茅の部分を取り除いて、新しい茅を補充するという方法で行っています。

まず、表面を覆っている苔などを削ります。そして、古い茅を抜き出し、新しい茅を入れます。

この差し入れた茅を揃えるのに「ガンギ」と呼ばれる道具を使い、たたいて揃えていきます。北面の屋根の修理を経て、現在では南面の屋根にとりかかっています。



ガンギ



新しい茅を差し入れたようす

工事中は、安全のため中に入ることはできません。けれども、外から工事の様子をご覧いただけます。
また、館内では生家内部と工事過程の写真を展示しています。
日々、生まれ変わっていく茅葺き屋根にご注目ください。

故郷七十年を読む

名作著書紹介

『故郷七十年』には、生家での出来事や國男の生家への想いが記されています。

「私の生家」では、國男が生まれる前年に「生野街道のかたわらの栗賀か福本あたりにあつた老人夫婦だけの、医者か何かの家を買って来て建てたもの」であると記しています。

そして、生家の表の空き地には「兄が永住の地と定めて、さまざまな花木を植えていた。白桃や八重桜などが、春ともなれば道ゆく人々の話題となるほどに、美しく咲きそつたものである」とあり、國男だけでなく兄も生家を大事にしていたことが窺えます。



見学会のようす

実際に足場を登って茅葺き屋根に触れながら、職人さんによる説明とその技をご覧いただきました。文化財の保護修理を知っていただける貴重な機会となったと思います。
修理工事は、12 月 20 日まで行われる予定です。外からの工事見学は可能です。
途中、お休みの日や天候によっても作業が変わりますので、見学希望の方は、当館（TEL 22-1000）まで問い合わせください。